

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年1月12日

| | |
|-----------------------------|---|
| 協議会名: | 田川市地域公共交通会議 |
| 評価対象事業名: | 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 |
| 地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性) | <p>(1)目的 本市では、日常生活における市内移動手段の確保と、地域間交通ネットワークへの円滑な接続、持続可能な公共交通の実現を目指して、平成22年度から市内の交通空白地域・不便地域の解消を図るため田川市コミュニティバスの運行を開始している。 これまでの利用実績や地域間幹線系統の廃止等の可能性をふまえ、平成25年3月に「田川市地域公共交通総合連携計画」を改定した。新たな連携計画では、幹線交通との接続の改善などの利便性を向上させることで、地域公共交通全体の確保維持を図るものとしている。</p> <p>(2)必要性 平成22年度から取り組みを始めた田川市コミュニティバスは、地域に密着した生活交通として、市民の日常生活に必要不可欠な存在となっている。 また、田川市郡の中心都市である本市は地域間交通ネットワークの拠点となる後藤寺バスセンターや田川後藤寺駅および田川伊田駅を有しており、西鉄バスやJR、平成筑豊鉄道との円滑な接続が要望されている。 このため、今後も継続的な取り組みを行うことで、安定した地域公共交通の確保維持と改善が求められている。</p> |